

2024年 夏号 vol.13  
日本臨床工学技士連盟  
広報誌



# 理事会報告

## 〔渉外部〕

### 〈2023年の活動報告〉

・政治集会（パーティー）参加 … 53件

### 〈2024年の活動予定〉

今後の計画（目標）

- ① 政治パーティーの参加に関して  
・ 衆議院選挙はどうする  
・ 議連参加の議員会合には参加  
・ 東京での集会は国会会期中が多い  
・ 極力同じメンバーで参加  
・ 実績を元に開催予想  
・ 今後の派閥による政治集会の方向性は未定
- ② 議員秘書と連絡できるように（名簿の作成共有）
- ③ 国会見学を計画（若い会員に積極的に呼びかける）  
・ 国会が1月26日～6月23日に予定されているため、上記以後に企画する。  
・ 日本臨床工学会の予定に合わせるか検討する。
- ④ 報告に関して  
・ イベントに参加した場合は、参加報告をお願いします。

## 〔組織部〕

### 〈2023年の活動報告〉

- ① 各地域、都道府県担当者の配置の推進、登録情報の更新等。
- ② HPによる連盟活動の共有と情報発信の

推進のため、各県技士会HPとのリンク  
推進を継続した。

### 〈2024年の活動予定〉

- ① 理事、地域担当者の確保維持、登録情報の共有を継続する。
- ② 各県技士会HPに連盟リンクの無い都道府県に対し、積極的に掲載を推進する。
- ③ レジエント会員制の創設と登録の推進。
- ④ 次期国政選挙を見据えた各都道府県医師連盟との連携確認、準備等。

## 〔選挙対策部〕

### 〈2023年の活動報告〉

・ 参議院選挙において、自見はなこ先生の当選に向け、全国の関係者とともに取り組んだ。結果、自見はなこ先生の当選に結びついた。この、初めての戦いに際してどのように努力すべきかを学ぶことができた。

### 〈2024年の活動予定〉

- ① 2024年今後より一層、一致団結した行動が求められる。若い会員への連盟の意味・必要性を説明し、また、選挙に行くことの重要性を伝えたい。
- ② 各県・地域において、選挙事務所との意思疎通が大切であるため、平日頃からどの代議士が「臨床工学会を支援する議員連盟」に所属しているか？また、臨床工学会の理解を深めていただくよう訪問しておくことを重点としたい。
- ③ 2025年第50回衆議院総選挙が予定されている。このときに、我々「臨床工学会連盟」が十分評価されるよう備えを継続しておく。

## 〔広報部〕

### 〈2023年の活動報告〉

・ 広報誌「みらい」 … 2回発行  
・ メールマガジン … 5回配信

### 〈2024年の活動予定〉

・ 広報誌「みらい」 … 2回発行  
・ メールマガジン … 6回配信

## 〔学修部〕

### 〈2023年の活動報告〉

・ 第33回 日本臨床工学会 市民公開講座1  
「笑って学ぶSDGs」を開催した。  
前半は様々な資料や映像を示しながらSDGsについて分かりやすく説明していただき、後半は小グループでのカードを使ったゲームを行いながら楽しく学んだ。

### 〈2024年の活動予定〉

・ 学修部の部員を選任して活動したい。

## 〔若手推進部〕

### 〈2023年の活動報告〉

・ 日本臨床工学会にて若手推進部企画「CEバズり王決定戦!!!」を開催し、夢をたくさん集めた38人が集った。

### 〈2024年の活動予定〉

- ① 若手会員の増加および若年層への認知度を高める。
- ② 日本臨床工学会ブース出展時に学生から中堅層をターゲットとした、参加型の企画を実施する。

## 〔事務局〕

### 〈2023年の活動報告〉

・ 連盟ブース運営を地域に委託する体制を

整えるために、事務局員4名が各地方会  
に1～2名を配置しブースの設置と運営  
を行った。これにより、2024年以降  
の各学会のブース運営は各都道府県担当  
者に委託できるようになった。

さらに、ワンコインプラン2024年の  
導入都道府県に向けた手続きの整備と周  
知のための会議を随時開催している。

### 〈2024年の活動予定〉

- ① 会員増、ワンコインプランに向けて、会員と会費徴収に関する管理と各都道府県技士会との連携を画策し進めていく。
- ② 引き続き、理事、都道府県担当者の組織的な取り組みをもとに、適材適所で動く体制整備と指揮系統の明確化を目指し、他部門の活動の支えとなるようバックアップ体制を続けていく。
- ③ 全国での活動が活発化しており支出増加が目立つため、財政引き締めを進めていく。
- ④ ワンコインプランも含め、活動が多様化してきており、活動内容に見合った規定・規約の見直しを行う。



# 鬼木先生ご挨拶

衆議院議員の鬼木誠です。今日は議員連盟で我々がどのようなことを要望したのか、理事長名の印鑑がついた要望書等を作成し、議員連盟、臨床工学技士を応援する議員を通じて厚生労働省に声を伝えるという活動を行いましたので、その要望の内容や議員連盟の様子をご報告したいと思います。

議員連盟では、公益社団法人日本臨床工学技士会本間理事長と日本臨床工学技士連盟理事長の肥田理事長の連名で印鑑を押した要望書が、臨床工学技士を支援する議員連盟加藤勝信会長宛てに手渡されました。その内容について議員連盟でしっかりと議論し、その場には厚生労働省の各担当課も同席しており、私たちが声を伝えると同時に、官僚の皆さんからも意見を聞きました。そして、それらも何とか課題解決に向けてしっかりと取り組むようにということ、議連から厚生労働省に伝えました。

要望書は簡潔にまとめられており、大きく分けてその内容は3点です。

1点目は、医療機器が使用される環境下での安全対策等の推進についてです。  
2点目は、地域医療介護総合確保基金の活用推進についてです。

3点目は、医療機関における臨床工学技士の配置等についてです。  
具体的な要望内容としては、まず1点目の医療機器が使用される環境下での安全対策等の推進についてです。これはさらに2つの要望に分かれており、1の1は手術室における臨床工学技士の常駐配置を求めています。臨床工学技士が常駐することにより、手術室における電気設備や医療ガスなどのインフラを含む医療機器の保守点検の充実、医療DX、サイバーセキュリティ対策が可能となり、手術の安全性が向上するものと考えます。診療報酬あるいは各種制度において、臨床工学技士の手術室における常勤を要件とすることを検討いただきたいと要望しています。

次に、1の2は在宅医療における臨床工学技士の位置付けについてです。近

年、在宅医療が推進され医療機器の使用も増加していますが、在宅医療における臨床工学技士の介入はまだ少ない状況です。退院前に患者および家族等に対して、医療機器の使用方法やトラブルシューティング、災害時の対応などについて指導説明を行うことにより、在宅医療における医療機器の安全が向上すると確信しています。退院時共同指導料1及び2の指導及び説明を行う職種として臨床工学技士を追記いただきたいと要望しています。

続いて、2点目は地域医療介護総合確保基金の活用推進についてです。臨床工学技法等改正によるタスクシフト、タスクシェアの推進についても触れられています。勤務医の労働時間短縮に向けた総合的な取り組みに対する補助や、その対象として地域医療において特別な役割を果たし、過酷な勤務環境にある臨床工学技士の支援を求めています。地域医療介護総合確保基金の事業区分6の活用促進に向け、基金の使用目的のさらなる周知をお願いしたいという内容です。

最後に、3点目は医療機関における臨床工学技士長の配置についてです。民間給与は1999年以降上昇しているが、医療及び福祉については若干減少している指摘されています。国立大病院の臨床工学技士の増加に対しても任期

付職員が2割存在し、医療機器安全管理者が1割未満と他と比較して低い状況です。労働人口が減少する中で、臨床工学技士が選ばれる職種であり続けるためには処遇の改善が必要であり、賃金や雇用形態、責任あるポストへの配置などの改善を要望しています。

これが要望書の3点の内容です。議員連盟としても診療報酬のトリプル改定に対する危機感の中で、物価高と賃上げに対応できる診療報酬の改善を求めて声を上げています。



# 釜范敏先生に 推薦状を交付しました

## ご挨拶

日本医師会副会長の釜范 敏（かま やち さとし）でございます。

本間 崇理事長先生をはじめ、公益社団法人日本臨床工学会の皆様には、いつも大変お世話になりました。ありがとうございます。このたびは、ご挨拶の機会を頂戴いたしまして、深く感謝申し上げます。

私は平成26年から日本医師会の役員を務めておりますが、これまで医療関係職種担当として、国民の皆様が求められる必要な時に安全、安心で優れた医療を適切に提供するために、多くの医療関係職種の皆様とともに力を尽くしてまいりました。我が国は全体として人口が減少し、特に若年人口の急激な減少が見られ、人口構成は高齢者の割合の増加が今後しばらく続くことが予想されます。あらゆる業種において人手不足が見られる中、医療従事者の確保が困難になり、チーム医療の徹底と医師のタスクシエア、タスクシフトが喫緊の課題となっております。

2021年の法改正により、静脈路の確保や内視鏡下手術での内視鏡用ビデオカメラの保持などが、臨床工学会の新たな業務範囲に加われました。日本臨

床工学会におかれましては、新たな業務にかかる厚生労働大臣の指定研修機会の確保にご尽力いただいております。これと、改めて感謝いたします。それぞれの医療関係職種は、これまで実績を積まれた本来の業務をさらに高いレベルに引き上げるべく取り組んでいただいておりますが、医療機器の進歩、技術革新が目覚ましい中で、特に臨床工学会の皆様には、医療機器を扱うスペシャリストとしての役割がますます高まり、まさになくてはならない存在であります。

これから我が国で特に必要となる医療領域は、慢性期医療や在宅医療でありましょう。各医療従事者はこれらの領域でどのような役割を担うことができるか、検討の取り組みや研修機会の確保が求められます。その場合には、病院内で培われたコミュニケーション能力やチーム医療の体制を在宅にも拡げていくこと、各職種の業務の明確化と責任の所在についてさらに整理しておかなければなりません。

さて、私は本年1月に行われました日本医師連盟執行委員会において、来年7月実施予定の次期参議院選挙での自民党比例区候補者の推薦決定を受けました。現在、日本医師連盟は、精力的に後

援会活動を展開しております。この後援会活動の中で、日本臨床工学会の皆様に関わる諸課題に対して、皆様のご指導ご要望をいただき、政治の場での課題解決のために全力で取り組んでまいりたいと存じます。よろしくご指導、ご支援いただきますようお願い申し上げます。

結びに、臨床工学会の皆様のさらなるご活躍と公益社団法人日本臨床工学会のご発展を心からお祈り申し上げます。

令和6年7月

日本医師会副会長

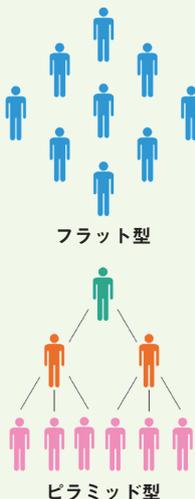
釜范 敏



## コラム

### #column 病院内の組織として 何人が適切なもの？

この答えは、施設の規模や業務内容によって変わってきますが、一般的に、スパン・オブ・コントロール（1人の上司が直接管理できる適正人数）は5〜7人程度とされます。病院では、指示命令系統を明確にしたのでフラット型よりは、働いている年齢がバラバラで、役職が均等に配置されているピラミッド型ではないでしょうか？そうになると、技士長①科長②主任③主任の部下各⑥⑤④③②①、当直業務や産休・育休、急な休みに対応しようとするとならば必然的に20人以上が理想的とも言えます。数は力と言うように、そこまで増えれば検査や放射線とも同等に位置づけられるかもしれませんね。



# 「臨床工学技士に対する診療報酬上の評価と課題」

済生会熊本病院 医療支援部 医事企画室 岩下 明日香／臨床工学部 荒木 康幸

働き方改革に伴う法改正やCOVID-19感染症の流行により、CEの活躍の場や認知度が高まっている。2022年度の診療報酬改定では、ECMOの治療管理を評価した「体外式膜型人工肺管理料」や、ICU等の重症患者対応を評価した「重症患者対応体制強化加算」が新設され、施設基準にCEの配置が求められる等、診療報酬上においてもその重要性が評価されつつある。しかし、他の職種と比較し、CEの評価はまだ十分とはいえないだろう。

主な課題として、医療機関全体におけるCEの体制評価が乏しいことや、業務範囲の拡大に対応できていないことが挙げられる。例えば薬剤師では、病棟医等の負担軽減及び薬物療法の有効性、安全性の向上に資する薬剤師の体制を評価した加算があり、全入院患者に算定可能である。400床規模の病院であれば、年間約2,700万円の収益が見込まれる。また臨床検査技師も同様に、技師の配置や緊急検査の実施体制が評価され、年間約4,500万円の収益が見込まれる。さらに2024年度の診療報酬改定では、管理栄養士や理学療法士等によるリハビリ・栄養・口腔管理等に係る体制を評価した加算が新設され、医療機関によっては1億円以上もの収益が見込まれる。

一方、CEに対する体制評価は、集中治療領域における生命維持管理装置の操作と救命救急センターとしての評価に

留まっている。またこの集中治療領域の評価については、看護師やその他職種との組み合わせ要件となっており、CEの配置が主となる体制評価は現状無いに等しい。当院のCEは、医療機器の管理のみならず、医師の負担軽減のため外科系手術の第2助手や、麻酔アシスタント等も担っている。また、宿当直や自宅待機により、24時間365日、院内急変にも迅速に対応できる体制を整えており、CE無くしては当院の医療は成り立たない。このような体制について、他職種同様に評価されるべきではないだろうか。

以上を踏まえ、今回は低侵襲治療の発展や医師の働き方改革に伴い特に活躍の場が拡大している「手術室」に着目し、手術室へのCE配置に対する体制評価の新設を提案したい(図1)。診療報酬の名称は仮に「手術室業務向上加算」とする。点数や算定頻度は他のコ・メディカルの評価に準じて設定し、年間約2,400万円の収益が見込まれるものと仮定する。算定対象は、基準を満たす手術室で手術を実施した全患者で、直接的なCE対応の有無は問わないものが理想だ。また主な施設基準としては、手術室に専任のCE配置、手術件数等の基準、タスクシフトの実施などが想定される。CEの配置人数は、病院ごとに手術件数によって変動したり、「手術関連専門臨床工学技士」が1名以上などの条件付けをしたり等も考えられる。いずれにせよ、医療の質向上や働き方の改善に寄与し、CE配

項目	詳細
診療報酬名称	手術室業務向上加算
評価の対象	CEの手術室への専任配置による医療機器操作の安全性・質の向上や、緊急手術の実施体制を評価
点数	500点 ※仮に検体検査管理加算Ⅳに準じて設定した場合
算定頻度	月1回 ※上記に同じ
算定対象	基準を満たす手術室で手術を実施した患者 ※実際の直接的なCE対応の有無は問わない
主な算定要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶手術室にて、医療機器の安全管理、保守点検を実施している</li> <li>▶医師のタスクシフトを実施している 等</li> </ul>
主な施設基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶手術室に専任の常勤臨床工学技士が●名以上 ※配置数は手術件数により変動。うち「手術関連専門臨床工学技士」が1名以上などの要件も考えられる。また加えて看護師配置も考えられる。</li> <li>▶緊急手術の件数が年間●●件以上</li> <li>▶人工心肺を用いた手術、全身麻酔、内視鏡手術等の件数が年間●●件以上のうち、複数の基準を満たす ※複数領域の手術基準のうち●個満たす等の条件付けにより、様々な専門領域の病院に対応したい。</li> <li>▶院内で職員向けに医療機器の安全管理に関する研修を定期的実施</li> <li>▶医師から臨床工学技士へのタスクシフトを実施 ※例：スコープオペレーターのCE実施率5%以上</li> <li>▶医療機器安全管理料1の届出あり</li> </ul>
収益見込み	年間 約2,400万円 ※400床規模の高度急性期病院をモデルとして試算 (約400件/月×500点×10円)

図1 「手術室業務向上加算(仮称)」のイメージ図

置の動機付けとなるような直接的な要件が設定できることが望ましい。想定される効果としては、タスクシフトの推進により働き方の改善や効率的な手術室運営につながることで、また精度の高い医療機器等の操作によって、手術に伴う安全性の確保や時間の短縮につながる事が挙げられる。診療報酬の財源には限りがあるため、診療報酬を設定するからには、最終的に医療費の削減につながる事が必須条件である。患者、医療機関、行政の3者にとつてのメリットを考えながら組み立てていかなければならない。

また、先程提案した「手術室業務向上加算」と「急性期充実体制加算」等の既存の診療報酬項目を組み合わせる案も考えられる(図2)。実は、診療報酬ではそれぞれの項目を関連づけてあるものも少なくない。例えば「急性期充実体制加算」の施設基準では、「特定集中治療室管理料1」等の特定入院料の届出が必要となっており、図2の矢印の下方にある項目の施設基準が届出できなければ、その上の項目が届出できない仕組みとなっている。この仕組みに「手術室業務向上加算」を組み合わせる場合、「急性期充実体制加算」の施設基準として「手術室業務向上加算」の届出を設けることによって、急性期充実体制加算を届出するような高度急性期病院では手術室へのC E配置が実質必須化され、C E配置の強い動機付けとなる。そしてこの場合、高度急性期以外の病院であっても「手術室業務向上加算」は届出できるため、より幅広い病院で手術室へのC E配置を推進することが出来る。急性期充実体制加算の施設基準に直接C Eの配置要件を盛り込むよりも「手術室業務向上加算」のような項目を設けて盛り込む方が、人件費の財源獲得を兼ねられるため、より理想に近い形となるのではないだろうか。

今後タスクシフトや医療機器の高度化も加速し、C Eの重要性は増すばかりである。今後の医療の継続のためにも、診療報酬上のさらなる評価の充実に期待

したい。そのためには、質の向上や働き方改善への貢献など、積極的にデータを収集し、提言していく必要があるだろう。

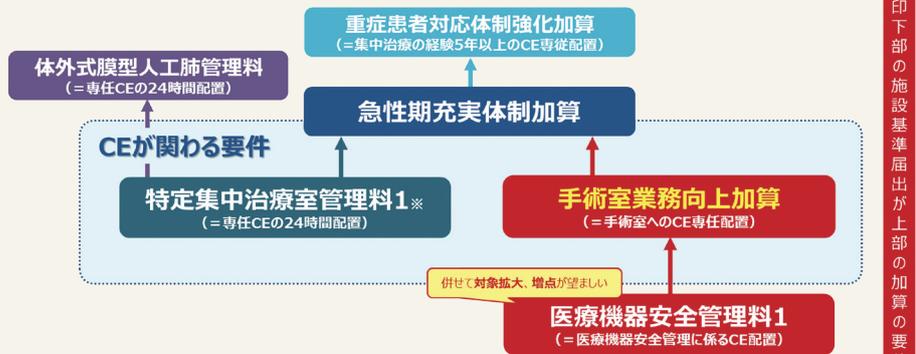


図2 「手術室業務向上加算」とその他の診療報酬を組み合わせる場合のイメージ図

## 連盟の政策活動

シープリンが聞く



臨床工学技士の養成校数と定員は何人くらいですか？

臨床工学技士の養成校は2024年4月で86校あり、定員は約4,000人となっています。国家試験の合格者は、ここ数年2,300人前後ですので、多くの養成校で定員割れとなっています。コロナ以降少子化もあって養成校への入学者数は減少しています。最近では、募集停止する養成校もあり先行きが危惧されています。



診療報酬はどのように決められていますか？

診療報酬は2年に1度、厚生労働大臣が厚生労働省に設置した中央社会保険医療協議会(中医協)において改定の必要性について審議された後に、諮問・答申を経て、厚生労働大臣が定めることになっています。中医協で審議されるには、外科系学会、内科系学会、外保連、内科系社会保険委員会連合(外保連)、内科系の内保連、看護系の看護連のいずれかから提案されないとけません。臨床工学技士会は、いずれにも所属していませんので審議の土俵にすら上がっていません。そこで、議員連盟という別ルートを使って厚生労働省にお願いしているのですが、激しい競争に打ち勝つ根拠・データが不足しています。獲得すべき診療報酬のターゲットを絞り有効なデータを収集しない限り診療報酬に反映されることは難しいです。

# 若手企画の政治への関心



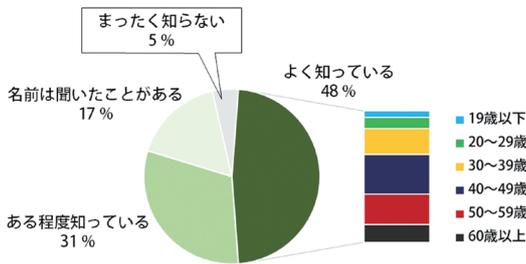
5月18日(土)～19日(日)に福井県で開催された第34回日本臨床工学会にて、日本臨床工学会技士連盟ブース(以下、連盟ブース)を出展いたしました。例年実施している連盟会員様向けのガチャガチャの他に、若手推進部隊の企画としてアンケート&クイズ、そしてプレゼント企画を実施しました。

アンケートは設問に対して年代別にカラーシールを貼ってご回答いただき、連盟や政治に対する学会参加者の意識調査を行いました。こちらのアンケートには126名の方がご協力くださいました。以下に結果や考察をご報告いたします。



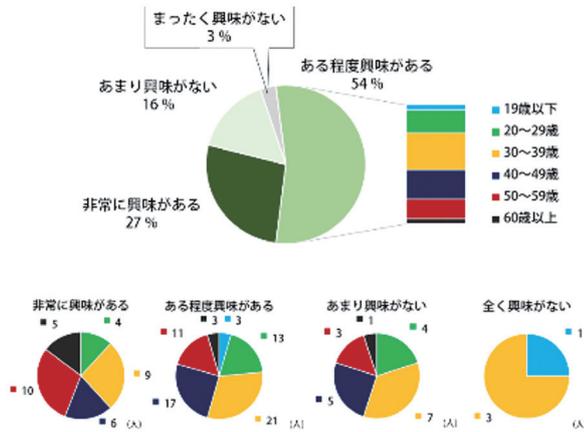
## 『1. 日本臨床工学会技士連盟について、どのくらいご存知ですか?』

年齢層によって連盟の認知度が大きく異なることがわかりました。60歳以上で最も認知度が高く、19歳以下で最も低い結果となりました。特に、40歳以上のグループで「よく知っている」と回答した割合が高いことが特徴的です。長年の経験を積んだCEは業界の知識も豊富であり、キャリアの中で連盟の活動に直接的または間接的に関わる機会が多かったのではないのでしょうか。



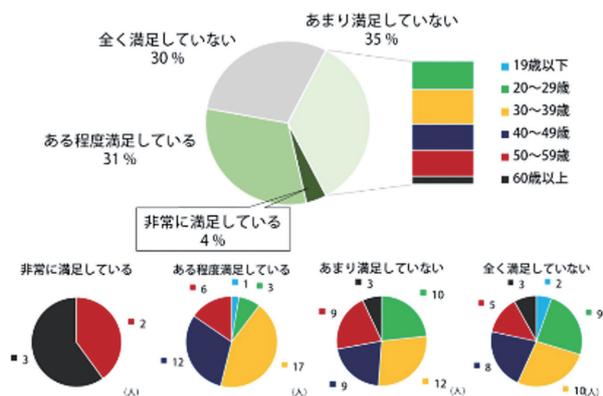
## 『2. 政治に興味を持っていますか?』

年代に関係なく政治に対する興味は一定でした。また全ての年代において比較的高い政治への関心が見られました。これは連盟ブースを訪れた人に既存の会員も含まれていることが影響とした可能性もあります。



## 『3. 今の給料や待遇に満足していますか?』

年齢層によって満足度に差がありました。19歳以下と20～29歳層で満足度が低く、60歳以上層で最も高いという結果でした。30歳代から満足度が徐々に高くなる。これは年齢が上がるにつれて、昇進や給与が増加し、給料や待遇への満足度が高くなったと考えられます。



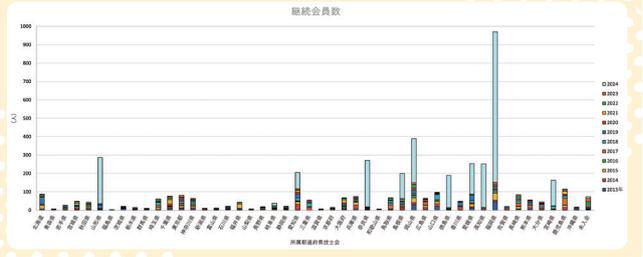
これらの結果より、若年層への認知度向上のために情報提供を強化する、CEの政治への関心を高めるために啓発活動を通じて関心を高める施策が必要となる、若年層の給料・待遇改善を図るためにより一層の連盟活動が求められているという結論に至りました。

また本大会の会期から1週間以内に7名の新規入会がございました。今後も日臨工での連盟ブースによる周知を行います。若手推進部隊の企画も来年は更にパワーアップする予定ですので、皆様引き続きご理解ご協力くださいますようお願い申し上げます。

# 事務局だより

## 会員数動向

都道府県	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	計
北海道	6	1	20	1	1	4	38	1	4	7	5	0	88
青森県	0	0	1	2	0	2	0	1	0	1	0	0	7
岩手県	0	0	2	8	5	5	6	11	0	1	0	0	38
宮城県	0	1	2	2	8	6	5	2	4	12	8	1	65
秋田県	3	3	5	9	9	1	3	0	5	5	0	0	43
山形県	0	0	1	2	2	4	17	4	0	5	1	250	286
福島県	0	0	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3
茨城県	6	0	2	0	0	2	1	0	1	3	1	0	21
栃木県	1	0	0	2	2	1	3	6	0	0	0	0	15
群馬県	2	2	0	0	2	3	0	0	0	1	0	0	10
埼玉県	1	2	10	1	11	16	2	0	2	0	5	0	61
千葉県	7	6	5	1	1	2	2	50	23	10	7	0	79
東京都	8	5	11	5	9	10	7	7	5	4	10	0	81
神奈川県	6	7	9	7	6	10	6	7	5	3	3	0	64
新潟県	1	1	0	0	2	0	0	0	0	4	1	1	10
富山県	0	2	2	0	0	1	2	1	0	4	0	0	12
石川県	3	4	1	0	1	5	4	0	0	2	1	0	21
福井県	1	2	4	0	0	3	0	0	20	8	2	0	43
山梨県	1	1	2	2	0	0	0	0	1	1	1	0	12
長野県	4	5	5	1	1	1	2	2	0	0	0	0	19
岐阜県	0	1	3	3	1	3	2	0	1	9	1	14	38
静岡県	2	4	2	1	2	4	1	0	3	2	1	0	21
愛知県	2	28	16	3	2	16	20	8	11	4	6	68	205
三重県	0	17	3	0	0	17	7	0	1	1	7	1	54
滋賀県	0	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	7
京都府	0	5	3	3	0	6	1	0	3	0	7	0	45
大阪府	4	4	5	7	2	5	0	7	16	8	2	0	67
兵庫県	7	20	15	5	3	6	4	4	4	1	5	0	74
奈良県	2	7	2	2	4	1	7	1	0	1	1	253	271
和歌山県	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	6
鳥取県	2	1	2	1	20	10	14	3	0	10	1	0	67
徳島県	2	9	5	4	9	3	12	4	1	11	3	136	186
香川県	30	11	26	13	3	7	17	9	4	19	11	236	389
岡山県	4	15	11	3	16	1	5	6	2	1	2	0	64
山口県	21	14	12	6	5	26	3	1	2	2	3	2	87
広島県	2	0	0	3	1	1	0	1	0	5	1	173	189
島根県	2	17	0	1	2	7	14	1	1	1	3	0	49
愛媛県	13	6	15	2	4	12	26	1	0	6	0	165	253
高知県	1	4	0	0	0	0	0	0	3	0	1	237	252
福岡県	47	7	38	14	7	3	11	4	5	6	10	818	970
佐賀県	1	0	0	0	7	1	1	0	0	0	1	1	29
長崎県	5	5	2	13	2	17	11	8	5	4	10	5	64
熊本県	7	8	9	1	6	8	6	6	2	3	0	0	56
大分県	2	3	5	0	9	11	3	3	2	0	7	0	45
宮崎県	1	0	0	0	2	15	1	0	0	1	0	140	162
鹿児島県	2	13	1	1	1	13	1	0	16	11	7	4	116
沖縄県	0	0	1	1	1	8	4	0	1	0	1	1	16
未入会	2	1	2	1	2	1	7	4	9	17	10	0	73
計	213	226	291	120	225	211	286	124	180	192	131	2,538	4,071



## 500 ワンコインプラン 全国達成度マップ

2023年	宮崎県、愛媛県
2024年	福岡県、高知県、徳島県、島根県、岡山県、奈良県、山形県
2025年	???



### おっさんの料理

## 棒ハンバーグ

挽肉たっぷりのハンバーグよりあっさりしていて野菜までいっしょに食べられます。大根おろしとポン酢で美味しくいただきます。

### 作り方

- 竹輪にグリーンアスパラを突っ込み
- 挽肉、タマネギ、生卵、パン粉のハンバーグのタネで巻いて焼きます。



### プレゼント企画

## 甲子園のペアチケットをプレゼント!

9月15日(日) 18時試合開始  
阪神vsヤクルト/内野指定席2枚

### 応募方法

Eメールにて、タイトル「連盟プレゼント応募」として①氏名 ②会員番号 ③勤務先 ④電話番号 を記載の上、hce321@gmail.comまでお送り下さい。当選発表は、景品の発送をもって代えさせていただきます。

### 会員情報の変更はお早めに

転職や転勤による住所の変更、結婚による苗字の変更、メールアドレスの変更など修正がある場合はホームページの「会員情報システム」よりお早めに修正をお願いします。メールや広報誌の未達が大変増えております。有益な情報や重要なお知らせが、お手元に届かない可能性がありますので、ご協力よろしくお願いします。

### SNSやってます!

日本臨床工学技士連盟では、Webページの他にFacebook、X、理事長ブログも運営しております。参加リクエストを承認させていただくうえで、会員登録情報と紹介させていただいております。「+グループに参加」ボタンから申請された後に、質問ウィンドウが表示されますので、必ず全てにご回答いただきますようお願いいたします。

### 会費の未納はありますか?

日本臨床工学技士連盟の運営は会員の皆様方の会費によって成立しております。滞りますと会の運営に支障をきたします。クレジットカード、コンビニ決済、銀行振り込みを用意しておりますので、ご都合の良い方法でお支払いいただけますと幸いです。お支払日につきましては、クレジットカードは毎年入会月、そのほかは毎年6月末を予定しております。ワンコインプランでご入会の方は所属の都道府県が代行徴収いたします。

### なんでもご意見!ご質問!

日本臨床工学技士連盟では皆様のご意見をお待ちしています。「ここがこうなれば良いのに」「ここって絶対おかしいよね」など、臨床工学技士の職域拡大や待遇改善について遠慮なく投稿ください。お手伝いなどのご協力もお待ちしております。



## 日本臨床工学技士連盟

〒113-0034 東京都文京区湯島1丁目3-4 KTお茶の水聖橋ビル5F(日本臨床工学技士会)  
TEL 03-5805-2563 FAX 03-5805-2597 / E-mail は、公式サイト「お問合わせ」から

